

【注意】セキュリティの回避対策

セットアップファイルはメールやサイト等で配布時のセキュリティ回避の為に拡張子が「.set」になっています
拡張子を「.zip」に戻してから解凍（セットアップ）して下さい

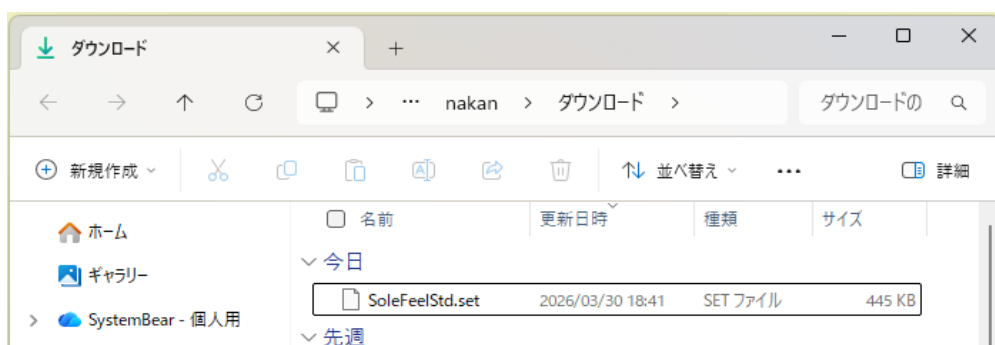
※解凍（セットアップ）先の推奨は「C:¥」か「C:¥Ask」です

解凍後は「App」フォルダ内にある実行ファイルの拡張子「.ex_」を「.exe」に戻して下さい

サポートサイトのURL: <https://ask.systembear.online>

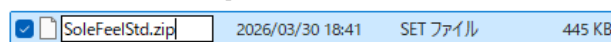
【手順】サポートサイトかメール等で事前にセットアップファイルを取得して下さい

足底感覚評価装置操作アプリケーションのセットアップファイル「SoleFeelStd.set」を準備して下さい

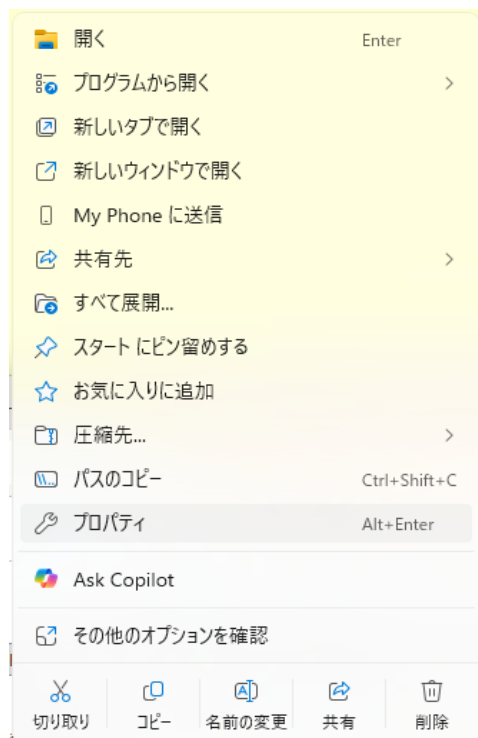


ダウンロード例

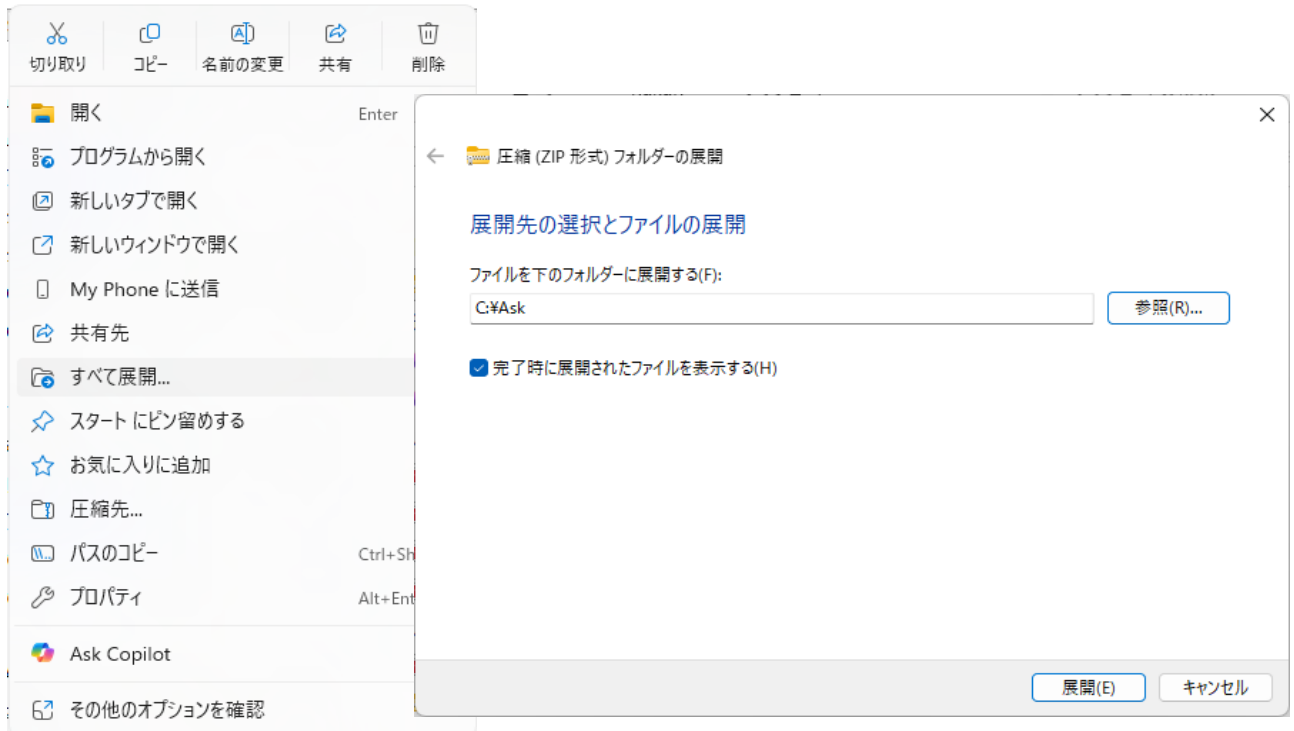
最初に「SoleFeelStd.set」を「SoleFeelStd.zip」に戻します



次に「SoleFeelStd.zip」を右クリックしてプロパティを表示しセキュリティの「許可する」チェックがあればチェックして下さい、起動時の「WindowsによってPCが保護されました」メッセージを回避できます



次に解凍(セットアップ)先フォルダを準備します、推奨は「C:¥」か「C:¥Ask」です
「SoleFeelStd.zip」を右クリックして「すべて展開...」で解凍先を指定して解凍します
(注意)ただのクリックだと展開はされず確認のための表示のみです



【セットアップ直後のフォルダ構成】※「C:¥Ask」に解凍(セットアップ)例

<C:¥Ask¥SoleFeel2>

<App>

「SoleFeelStd.exe」

「Sole.cfg」

<Dat>

「Patern.csv」

「Start.wav」

「End.wav」

「PrintMemo.txt」

<測定結果>

「SoleData_0_xxxxxxx.csv」

「SoleData_S_xxxxxxx.csv」

「SoleData_F_xxxxxxx.csv」

・インストールでCドライブのルートに作成する

・プログラムフォルダ

←足底感覚評価装置プログラム

←設定ファイル

・システムフォルダ

←パターンデータ(CSVファイル)

←音声ファイル「開始」

←音声ファイル「終了」

←印刷コメント欄データ

・結果フォルダ(デフォルト)

←専用出力の測定結果CSVファイル例

←標準出力の測定結果CSVファイル例

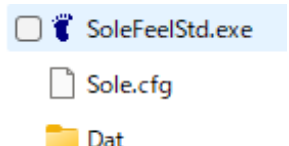
←詳細出力の測定結果CSVファイル例

※アプリケーションで結果フォルダの変更は可能です。

最後に「SoleFeelStd.exe」のショートカットアイコンをデスクトップに配置します

「SoleFeelStd.exe」を右クリックで「その他のオプションを確認」→「送る」

→「デスクトップ(ショートカットを作成)」

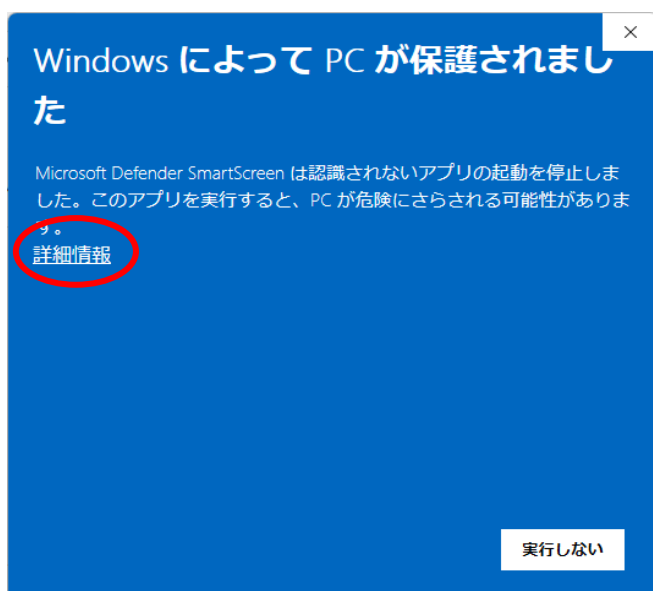




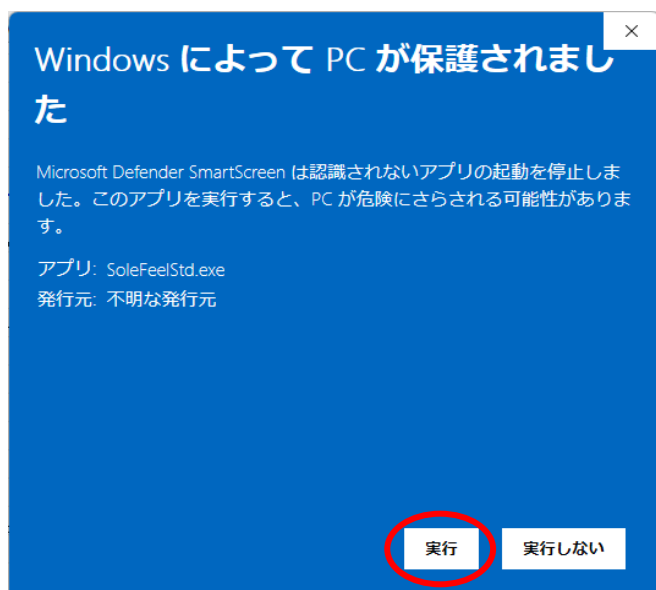
これで「足底感覚評価装置」操作アプリケーションのセットアップは完了です

「足底感覚評価装置」を初めてパソコンに接続（USB）した時にUSB仮想COMのドライバをセットアップするメッセージが出た場合は指示に従いセットアップして下さい

起動時に「WindowsによってPCが保護されました」メッセージが出た場合の対処



「WindowsによってPCが保護されました」とメッセージが出た場合は、「詳細情報」をクリックして下さい。



「実行」ボタンが表示されるので、クリックします。
※以降は通常に実行が出来ます